



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】平家物語、その滅びの美学 第2回 「平家物語と能」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>日本を代表する伝統芸能の能楽に、もっとも大きな影響を与えたのは『平家物語』であった。言行の能のなかから、平家物語に取材するものをいくつか選んで、能作者がどのようにこの物語を扱ったか、世阿弥の考えたところはどうであったか、などを含めて、実際の能役者である坂真太郎師をゲストに迎えて、『謹訳平家物語』のまた一味ちがった朗読なども含めて、語り合う。</p> <p>— 次回予告 — 第3回 『平家物語の男たち』 11月28日（月） 18:30～20:30 ※申込受付開始 9月25日（日）～</p>
日にち	2016年10月24日（月） 18:30から20:30
日にち説明	18:00開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホー

	ル)
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	林望/坂真太郎
プロフィール	<p>■林 望（はやしのぞむ） 1949年東京生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程満期退学。ケンブリッジ大学客員教授、東京藝術大学助教授を経て作家活動に専念。専門は日本書誌学、国文学。『イギリスはおいしい』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。著作に『すらすら読める風姿花伝』、『リンボウ先生のうふふ枕草子』など古典に関するものも多数。『謹訳 源氏物語』全十巻で2013年に毎日出版文化賞特別賞受賞。2015年5月、『謹訳 平家物語』第一巻を刊行。</p> <p>■坂 真太郎（ばん しんたろう） 1972年生まれ。能楽師シテ方観世流 重要無形文化財能楽総合保持者。三世 観世喜之師、及び故父・坂真次郎に師事。2003年皇居・桃華楽堂で「菊慈童」を皇后陛下・皇太子殿下・同妃殿下の御前にて奏演。これまでに「石橋」「猩々乱」「道成寺」を披演。1981年から浅草寺境内での「台東新能」に出演。NHK大河ドラマ「功名が辻」「風林火山」に出演。2014年NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」で4回にわたり能楽シーンに出演。落語、オペラなどの他ジャンルとのコラボレーション作品を発表。海外公演にも多数参加。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年08月25日 10:00 から2016年10月24日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示	2016年 10月
<input type="checkbox"/> イベント開催日	日 月 火 水 木 金 土

■ 休館日

							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

発信日

2016.08.25

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)